

# 防災・安全ニュース

VOL. 6

## 危機管理課

2023年10月号

電話65-1282

毎月のように前書きに前月の災害のことを書いていますが、先月も台風第13号が猛威を振るい、関東などに大きな被害をもたらしました。災害への「自助の備え」は言葉のとおり「自分ごと」ですので、調べて、考えて、準備していただければ幸いです。

では、今月号もよろしくお付き合いください。今月号のトピックスは次のとおりです。

- ・避難を妨げる「正常性バイアス」
- ・全国地域安全運動
- ・気象衛星「ひまわり」

### 避難を妨げる「正常性バイアス」

この言葉を聞かれたことがありますか？

これは、危険な状況を察知しても「日常のこと」「そんなことが起こるはずがない」「大したことはない」などと処理してしまう、全ての人に備わっている心の働きです。

この心の働きは、不安や心配を軽減して落ち着かせる効果がありますが、避難行動に対しては、逃げ遅れなどマイナスに働きます。

災害時に働くこの心理に対する絶対的な解決策はありませんが、効果的な例を挙げると次のとおりですので参考にしてください。

- ① 自分の認識はゆがむことがあることを理解して、危険な状況を察知したときに、「バイアスがかかっているのではないか？」と自分自身をチェックする習慣を身に付けること。
- ② 各種の防災情報のうち、この情報に接したら避難行動を開始するという心の「避難スイッチ」をあらかじめ決めておくこと。

※避難スイッチの例：市からの避難指示と〇〇川の水位が〇〇橋下2mに到達のいずれか早い方で避難



## 全国地域安全運動

10月11日から20日の10日間は、全国地域安全運動期間（11日：安全安心なまちづくりの日）です。今年の全国重点は、次のとおりです。

- ① 子どもと女性の犯罪被害防止
- ② 特殊詐欺の被害防止



※兵庫県警  
HP

この運動は、昭和52年に「全国防犯運動」として始まり、平成7年に名称変更されて現在に至っています。目的は、誰もが安全で安心して暮らせるまちを実現するため、地域ぐるみで犯罪等の防止に取り組もうというものです。具体的には、地域でのあいさつ、声かけ運動など、地域のちょっとした活動によっても地域を見守る機会が増えることによって不審者を寄せ付けにくくするといった効果があり、そのほかにも、買い物や犬の散歩などの日常生活の中で防犯の視点を持って見守る「ながら見守り」という取り組みもあります。「無理せず、できることから」地域のために防犯活動に参加いただければ幸いです。

また、新居浜市では、今年度限りですが特殊詐欺対策電話機等設置支援事業を行っています。（詳しくはこちら→<https://www.city.niihama.lg.jp/soshiki/syouhi/taisakudennwaki.html>）

## 気象衛星「ひまわり」

TVの天気予報では、「ひまわり」の衛星画像がお馴染みですが、現在8号（待機）と9号（観測）が運用されており、後継機の10号は令和10年頃打ち上げ、11年度運用開始に向けて今年度を目途に製造着手される予定となっています。後継機は、



※三菱電機HP

最新技術による3次元（大気の立体的な構造）観測を行う見込みで、最近頻発している線状降水帯の発生予測の精度向上などが期待されているようです。

次のURLで、リアルタイムの衛星画像を見ることができます。また、同画面の右下にある下から2番目のフィルムのマークをクリックすると、あまり目に触れない美しい昼夜の移り変わりの動画も

見ることができますので、よろしければご覧ください（毎日、午前0時からの映像が表示されますので、夕方以降に見るのがおすすめです。）。

<https://himawari8.nict.go.jp/ja/himawari8-image.htm>

【編集後記】

今月も防災・安全ニュースを最後までご覧いただきまして、ありがとうございました。

先月の29日であった中秋の名月（旧暦8月15日）を愛でる風習は、中国から平安時代頃に日本へ伝わったとされています。

一方、私は最近知ったのですが（恥）、十三夜の月も美しいとして月見をするのが日本独自の風習だそうです。十三夜は、旧暦9月13日（今年は10月27日）で栗や豆の収穫期に当たるので「栗名月」「豆名月」とも呼ばれるそうです。秋晴れの時期となって「十三夜に曇りなし」ともいわれるそうですので、秋の夜長に静かに月を眺めて、日常の喧騒から心を開放してみてもはいかがでしょうか？

(N.O)